

インテリアブランドIDÉEと無印良品が2011年から行ってきた、日常芸術をテーマにアート(=文化)を広げるプロジェクト「Life in Art」。この秋、Life in Artは“体験”をテーマにかかげ、無印良品銀座を拠点に、周辺の街へと場を広げ、日常芸術をそらぞらするアートイベント『TOKYO ARTSCAPES 2024』を開催します。

Life in Art
TOKYO ARTSCAPES 2024

会期 | 2024年9月27日(金) - 11月24日(日) *イベントにより会期が異なります
会場 | 無印良品銀座、YAU CENTER、日比谷OKUROJI、東京国際フォーラム、他
主催 | 株式会社良品計画 (IDÉE Life in Art プロジェクト事務局)
協力 | 有楽町アートアーバニズム YAU、株式会社ジェイアール東日本都市開発

■ TOKYO ARTSCAPES 2024 コンセプト

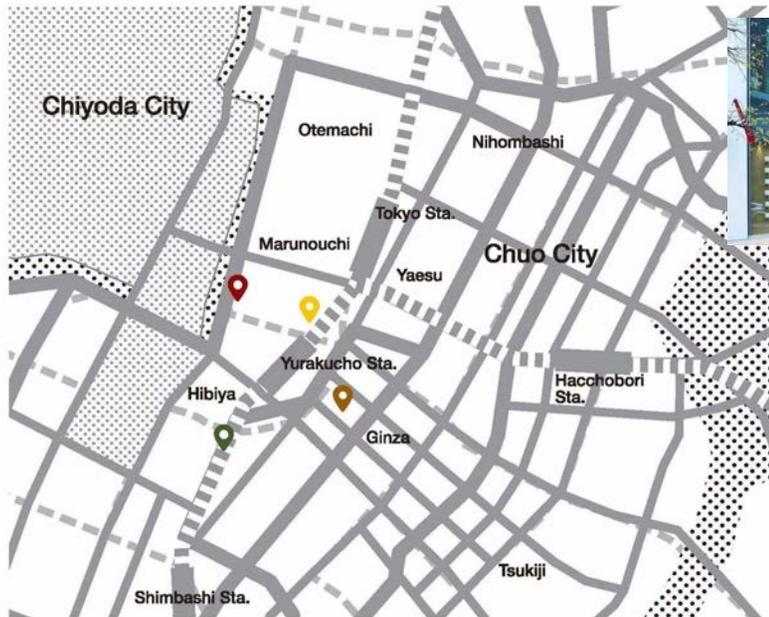
なにげない日常の風景の中にも視点をかえることでアートを感じたり、日々の意識的な行動で美意識も育まれます。その積み重ねこそが、私たちが提案する“アートのある豊かな暮らし”に繋がると考えています。

アートは単なる美ではなく、絵や彫刻を指すものでもあれば、美意識を広く捉えれば、教育や環境保護、宗教などの社会的な運動も芸術活動や芸術作品として解釈ができます。それら様々な営みを意識的に行うことで物事をどう見てどう考えるのか、自分がどういう人生を生きたいのか、社会や地域、人とどうかかわりたいのかを問いかける、そういったきっかけを作るのが、アートが従来担う豊かな役割ではないでしょうか。

■ 4つのコンテンツで構成

TOKYO ARTSCAPES 2024 は、【Exhibition】【Performance】【Fair】【Research】の4つのセクションで構成し、アートやリサーチ等を通じ日常を文化的にそうぞうさせる多様なコンテンツを展開します。これらの要素は全て「文化」という言葉が接点となり、アートから個人へ、さらに社会へと接続し、様々な視点から文化を読み解きながら、日常の中における芸術の価値を再考し、良品計画の志す「感じ良い暮らしと社会」を、より実体的・身近なものとするを目的とします。

TOKYO ARTSCAPES 2024



無印良品 銀座



東京国際フォーラム

© TOKYO INTERNATIONAL FORUM CO., LTD.



日比谷 OKUROJI



YAU CENTER

Exhibition

無印良品の店舗を中心に展覧会を開催し、文化を「視覚」から捉えるセクション

krank

『MOTHER - 空想と現実のあいだにあるもの -』展

会期 | 9月27日(金) - 11月24日(日)

会場 | 無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI

GINZA Gallery1・2

Performance

舞台芸術をととして、ライブ感のある表現、文化を肌で「体感」するセクション

『仕立て屋のサーカス 東京公演』

公演日時 |

10月26日(土) 開場 17:00 / 開演 18:00 頃

10月27日(日) 開場 14:00 / 開演 15:00 頃

会場 | 東京国際フォーラム ホール B5、他

料金 | 5,500円(税込) / 18歳以下無料 * 枚数限定(要予約)

出演 | 仕立て屋のサーカス

Fair

専門性の高いディレクター達による、キュレーションフェア。アートとインテリアを組み合わせ、プライベートな生活における、文化共生や共存関係について「想像」するセクション。

『Contemporary Life Fair』 at YAU CENTER

会期 | 10月12日(土) - 10月14日(月・祝)

会場 | YAU CENTER

時間 | 12:00-19:00 ※最終日~ 17:00

※その他、IDÉE SHOP Roppongi、IDÉE SHOP Jiyugaokaで別日開催

Research

研究者やアーティストと共に、銀座の地下街を探索、不思議な建物や土地のこと、私たちが暮らす場所について深掘りしながら、文化への興味関心を「拓く」セクション。

『銀座アンダー・グラウンディング』

会期 | 9月27日(金) - 11月24日(日)

会場 | 銀座・有楽町・日比谷の街

リサーチャー | 大山 顕 (写真家/ライター)、

本多沙映 (デザイナー)、座二郎 (建築家)



Exhibition



krank 「MOTHER - 空想と現実のあいだにあるもの -」 展

会期 | 9月27日(金) - 11月24日(日)

会場 | 無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2 ※入場無料

本来の機能にアートとしての美しさをもたらす作品づくりを行う krank の展覧会を開催します。実像と虚像、可視化と不可視化。光と影の中で小さいきものたちが織りなす不思議な世界。アンティークの家具や小物、時を経ても色褪せない魅力のあるものを組み合わせたそのユニークな創作を通して、ものを愛でる、大切にするなど、新たな価値を想像するきっかけになればと思います。また、本企画は、無印良品銀座店の2階から5階フロアへと展示を拡大し、1つの物語を巡るように仕掛けをしつらえます。krank の世界を、どうぞお楽しみください。

krank 藤井健一郎

福岡は糸島生まれ、糸島育ち。音楽学校卒業後、音楽活動を継続しつつ、2002年12月、marcello を設立。その後2004年2月、アンティーク家具 krank を設立し、全国各地での個展をスタートさせる。そして、2010年株式会社 sleep を設立。近年では、作品制作・空間プロデュース・舞台演出に加えて、音楽経験を生かした音源制作にも携わる。

■関連イベントの開催を予定しています。詳細やお申し込みについては ATELIER MUJI 公式ウェブサイトや SNS で随時お知らせ致します。

ATELIER MUJI 公式サイト | <https://atelier.muji.com/jp/>
Instagram | @ateliermuji_ginza



【関連企画】

「krank exhibition」

開催期間 | 11月8日(金)-11月24日(日)

会場 | IDÉE SHOP Jiyugaoka 4F IDÉE GALLERY & BOOKS *入場無料

IDÉE SHOP 自由が丘店にて、krank 「MOTHER - 空想と現実のあいだにあるもの -」 展にあわせて、krank が紡ぎだす作品の特別な展示販売を開催します。



Perfomance



Photo : 井上嘉和

『仕立て屋のサーカス 東京公演』

公演日時 | 10月26日(土) 開場 17:00 / 開演 18:00 頃、10月27日(日) 開場 14:00 / 開演 15:00 頃

会場 | 東京国際フォーラム ホール B5

料金 | 5,500 円 (税込) / 18 歳以下無料 ※枚数限定 (要予約)

出演 | 仕立て屋のサーカス

チケット発売日 | 8月28日(水)

予約方法 | Peatix にてチケットをご予約・ご購入ください。 <https://circodesastre241026.peatix.com>

アートを肌で「体感」することができるパフォーマンスイベントとして、舞台芸術グループ「仕立て屋のサーカス」の公演を、東京国際フォーラムにて開催します。音楽家や服飾家など様々なジャンルの制作プロジェクトチームによる多様な表現を通し、日常における総合芸術の可能性を広げるきっかけとなることを目指します。

舞台公演の他に、会場では物販などをお楽しみいただける予定です。その時、その場所で生まれる偶発的なエネルギーをぜひ間近で体験してください。



Photo : Ryo Mitamura



Photo : Ryo Mitamura



Photo : 井上嘉和

仕立て屋のサーカス / Circo de Sastre

音楽家「曾我大穂」が主宰・演出。服飾家など様々なジャンルの制作プロジェクトチームで構成される、サーカスのような舞台芸術グループ。職人やパフォーマーの動き、舞台装置そのものが音・布・光と一体となり、目まぐるしく変化する「ものづくりの物語」を演出。国内各地、フランス、スペイン、インドネシアで公演を開催している。

公式サイト | <https://www.circodesastre.com/>

Instagram | @circodesastre

Fair



Contemporary Life Fair

アートとインテリアでコーディネートされた現代的な生活空間に身を置き、生活における美意識を再考するフェア。上質な空間の中で、作品のサイズ感や家具との関係を同時に体感できる、従来のアートフェアや展示会とは少し異なる取り組みです。① YAU CENTER (東京・丸の内)、② IDÉE SHOP Roppongi、③ IDÉE SHOP Jiyugaoka の3会場で開催します。

① Contemporary Life Fair at YAU CENTER

会期 | 10月12日(土)-10月14日(月・祝)

会場 | YAU CENTER (〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目1-1 国際ビル1F)

時間 | 12:00-19:00 (最終日~17:00) ※入場無料

協力 | 有楽町アートアーバニズム YAU

ギャラリーとインテリアショップを組み合わせた5つのブースを設置。それぞれのブース内には、紹介するアート作品に合わせて、セレクトした家具でコーディネートした空間が広がります。アートのある暮らしを想像し、異なるブースが一堂を会するフェアだからこその特別な体験です。(※展示作品・家具はご購入可能。但し会期終了後のご入金・お渡し)

【参加ギャラリー・インテリアショップ】

ブース1

LEESAYA



LEESAYA

平安時代から栄える目黒不動尊の参道に2019年にオープンした、現代美術を取り扱うギャラリー。独自の表現を探求する若手アーティストを積極的に紹介。2024年3月セカンドスペース「Backyard」オープン。同世代の様々なジャンルのクリエイターと共闘し、現代における表現の可能性を探り続ける。

古道具

LET'EM IN



古道具 LET'EM IN

世界のモダンデザインと民芸を中心に扱う古道具店で、「中に入れてあげよう」という意味の言葉。普遍的な魅力を持つ物や、時代を経て魅力を発揮し始めた物を厳選して、流行や評価に左右されずに自分が本当に好きな物を見つけるためのお手伝いが出来たら、と考え、日々物を集めている。

【参加ギャラリー・インテリアショップ】つづき

ブース2

AOYAMA | MEGURO



青山目黒

2007年設立のギャラリー。ミッドキャリアを中心とした国内、国際的なアーティストを紹介。プログラムでは、時間と場所そして出来事をテーマに、アクションやさまざまなメディアでの概念的、そして視覚的な魅力も含んだ空間的なアプローチに重点を置いている。

Objet d' art



Objet d' art

フランスを中心としたデザイナーズ・ヴィンテージを軸に、ジャパニーズモダン、コンテンポラリーアートまで、国や年代に捉われない独自の視点から、日本発のギャラリーとして特別なライフスタイルを提案する。

ブース3

38



Gallery38

2016年に東京・神宮前に開廊。土を扱う作家である植松永次の個展でギャラリーをスタートして以来、ステファニー・クエール、クリスチャン・プーレイ、ロマン・カディロン、ハームット・ランダウアー、オリバー・マースデン、細井美裕、宮林妃奈子など、いま活躍する新進の国際的アーティストを日本に紹介すると共に、新進・歴史的に重要な日本人アーティストを発掘し、海外に広めることも目標にしている。

DOUGUYA



DOUGUYA

明治から戦前にかけて、日本で長い間大切にされてきた家具や古道具を独自の視点でセレクト。日本が大きな変革を重ねた時代背景の下、卓越した職人の技で丁寧に造られた家具や道具にある独特の美しさ。現代を生きる人々が持つ美意識と創造力のもと、古い家具や素材が持つ本来の美しさ、長い時間によって与えられた独特の佇まいを失うことなく昇華させ、すべての人々が個々に持つであろう心象風景としてのインテリアを選び取れる場をめざしている。

ブース4

IO4 GALERIE



104 GALERIE

2013年、目黒区大橋のガレージと近隣マンション1階の小さなスペースにて開廊。2021年に展示環境の充実を図り、目黒区青葉台に移転。ビルの地下1階にある120平米、天井高4mのギャラリーは、作品鑑賞に最適の空間となっている。国内外の作家の作品展示を通じて現代アートマーケットに独自の視点を提示する。



BUILDING

東京・白金で2010年オープン。アメリカ・北欧・ヨーロッパ・日本と国を問わない幅広いセレクトで、1950-1960年代にデザインされた希少なヴィンテージ家具をメインに、現代のデザイナー家具も扱う。状態の良いグッドコンディションのアイテムが厳選されている。

ブース5

IDÉE



「美意識のある暮らし」をコンセプトに、国内外のデザイナーと作ったオリジナル家具、セレクトしたテキスタイルやプロダクト、グリーン、音楽や本など幅広く紹介。さらに「Life in Art (日常芸術)」を掲げ、有名無名、時代性を問わず、そのクリエイションに共感するアーティストや作家の作品から、造形や経年美をもつヴィンテージデザイン、手の営みを感じるクラフト、遊び心溢れるアップサイクルまで、多様な価値観や見立てで、美意識のある暮らしを育む「もの」や「こと」を提案している。

② Contemporary Life Fair “Nouveau Japonisme” at IDÉE SHOP Roppongi

会期 | 9月27日(金)-11月4日(月)

会場 | IDÉE SHOP Roppongi

(東京都港区赤坂9丁目7-3 東京ミッドタウン Galleria3F)

※入場無料

「Nouveau Japonisme」をテーマに、日本のモダン～ポストモダン家具と現代クラフト・アート作品をコーディネートし、日常芸術の楽しみ方を新たな切り口で提示します。



= 展示アイテム・作家 (予定) =

Furniture & Lamp: 柳宗理、坂倉準三・長大作、村野藤吾、倉俣史朗、岡本太郎、ほか

Art&Craft: 田上允克、外山翔 (Atelier Matic)、坂本紬野子、生平桜子、ほか

③ Contemporary Life Fair “Welcome New Warmth” at IDÉE SHOP Jiyugaoka

会期 | 9月27日(金)-10月14日(月)

会場 | IDÉE SHOP Jiyugaoka 4F IDÉE GALLERY & BOOKS

(東京都目黒区自由が丘2丁目16-9)

※入場無料

欧米のモダン～ポストモダン家具と現代ヨーロッパのクラフト・アート作品をコーディネートし、日常生活におけるアートの取り入れ方を提案します。



= 展示アイテム (予定) =

Furniture&Lamp: Nordic Vintage Furniture, Marc Newson, Christian Haas, Jorge Herrera, ほか

Art&Craft: Philippe Weisbecker, Nicholas Shurey, Arni Aromaa, Enriqueta Cepeda, Melissa Sammalvaara, ほか

④ Contemporary Life Fair stoop & topso Exhibition “Italian, French and Dutch Design Mix”」 at IDÉE SHOP Jiyugaoka

会期 | 10月18日(金)-11月4日(月)

会場 | IDÉE SHOP Jiyugaoka 4F IDÉE GALLERY & BOOKS

(東京都目黒区自由が丘2丁目16-9)

※入場無料

清澄白河の gallery stoop と gallery topso の展示会を開催。両ギャラリーが年代・国・スタイルを問わず、独自の視点でコレクションした家具・アートの中から、イタリア、フランス、オランダのモダンデザインにフォーカス。それらを並列でコーディネートすることで、日常生活の中で多様な文化、ジャンル、年代を横断する楽しみ方を提案します。



stoop
GALLERY

stoop (ストープ)

清澄白河から徒歩3分、当時の床材や天井材を生かした200m²ほどの古い木造家屋。広がる空間には、フランス・イタリア・オランダを中心に、ヨーロッパからアジア紀元前から現代まで国境や年代に縛られずに「現在」の感性を通してコレクションされたヴィンテージ家具やオブジェ・現代アートが静かに佇む。型にとらわれずに、新たな価値を様々な語り口で提案している空間を目指している。

topso
GALLERY

topso (トプソ)

世界各国から、1930年～1980年代のデザインを今も製造する海外ブランドのプロダクトをコレクション。そうしたモダンデザインと合わせてコーディネートが可能な、日本国内の工芸をプロデュースし製品化、併せて展示・販売を行う。



Research



銀座アンダー・グラウンディング

会期 | 9月27日(金) - 11月24日(日)

会場 | 銀座・有楽町・日比谷の街

協力 | 日比谷 OKUROJI (株式会社ジェイアール東日本都市開発)

想像力を広げて目の前の風景を自分らしく見つめ、感覚を拓いていくことも「アート」となりえます。

「銀座アンダー・グラウンディング」は、銀座・有楽町・日比谷の街を新たな視点で再発見することを目的に、この街特有の魅力を探求するセクションです。

都市のインフラや構造を探求する写真家・大山顕氏、人工物の中に自然を見出すデザイナー・本多沙映氏、建築とアート・漫画の領域を行き来する建築家・座二郎氏が、リサーチャーとして地下道・高架下を巡った際の対話の様子を、お手持ちのデバイスからオンラインで視聴可能。人々が行き交う街並みの地下に広がる空間には、街の仕組みや歴史、地形、人工と自然との知られざる関係が存在し、その時々々の環境やコンディション、他者との対話によって、見える景色や受け取り方は多様に変化していきます。異なる視点が交わり合う事で、あなたにはどのような風景が見えてくるでしょうか。ぜひ視聴しながら街中を探索し、この街と一緒に掘り下げてみてください。

【コンテンツ】

①街を深く視るための音声ガイドと WEB マップ

リサーチャー3名が2人1組(大山×本多、大山×座二郎、本多×座二郎の3通り)になり、地下道・高架下を巡った際の対話の様子が音声ガイドに。WEBマップと合わせて視聴をしながら街を探索、そこに見える景色をお楽しみください。

②会期中の特別イベント

リサーチャー3人と実際に街歩きをします。街歩き後は、日比谷の高架下で100年以上の長い歴史とその痕跡を残しながら街と共存する『日比谷 OKUROJI』で、銀座・日比谷の地下や高架下の魅力を語りつくします。予約方法は決まり次第随時、web、SNSでご案内します。

■街歩きワークショップ&トーク

日時 | 2024年11月9日(土) 13:00-15:00

講師 | 大山 顕、本多沙映、座二郎

会場 | 銀座・有楽町・日比谷の地下・高架下

定員 | 10名

料金 | ¥2,000(税込)

■トーク(トークのみのチケット)

日時 | 2024年11月9日(土) 16:00-18:00

登壇 | 大山 顕、本多沙映、座二郎

会場 | 日比谷 OKUROJI (東京都千代田区内幸町一丁目7番1号)

定員 | 30名

料金 | ¥1,000(税込)

【リサーチャー プロフィール】



大山 顕 写真家／ライター

1972 年生まれ。写真家・著述家。立教大学社会学部講師。代表作に『撮るあなたを撮るわたしを』（2024 年 講談社）、『工場萌え』（石井哲人の共著 2007 年 東京書籍）、『新写真論スマホと顔』（2020 年ゲンロン叢書・2023 年日本写真協会学芸賞受賞）、『立体交差』（2019 年本の雑誌社・2020 年土木学会出版文化賞）など。 X:@sohsai



本多沙映 デザイナー

武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業後、IDÉE を経て渡蘭。2016 年 Gerrit Rietveld Academie 卒業。2021 年にオランダから日本に拠点を移し、国内外で自主制作作品を発表するほか、コミッションワークも手がける。作品はオランダのアムステルダム市立美術館、アムステルダム国立美術館、アーネム博物館にて永久所蔵。



座二郎 建築家

1974 年生まれ。早稲田大学理工学研究科建築学専攻修士課程修了後、大手ゼネコンに勤務。通勤電車のなかで漫画を描き始める。ビッグコミックスペリオルにて『RAPID COMMUTER UNDERGROUND』を WEB 連載。2019 年リビングに屋根のない自邸を設計。2021 年退社・独立。グラフィックで空間と平面の中間領域を追求する



「Life in Art」とは

Life in Art は、インテリアブランド IDÉE が 2011 年にスタートした、日常芸術をテーマにアート（= 文化）を広げるプロジェクト。10 年目の 2021 年には、無印良品 銀座を拠点に、総勢 27 組のアーティストを紹介する大規模な展示会「Life in Art Exhibition」も開催しています。有名無名、時代性、国内外関係なく、クリエイションに共感するアーティストの作品紹介から、展示会・コラボレーション作品、アートを次の人に繋げるオークションなど、アートの価値や可能性を提案しています。

【TOKYO ARTSCAPES2024】

詳細は下記 WEB サイト、インスタグラムをご確認ください。

公式サイト | <https://www.idee-lifeinart.com/exhibition/tas2024/>

Instagram | @ideelifeinart

【巡回情報】

本企画は OSAKA ARTSCAPES 2025 と題し、大阪へと巡回します。

2025 年 5 月 30 日（金）- 6 月 29 日（日）の期間、無印良品 グランフロント大阪を中心に、大阪・梅田～中之島エリアにてイベント開催を予定しています。

【PRESS CONTACT】

ご質問、取材や掲載等のご希望は下記までお問い合わせ下さい

イデー プレス担当：竹形 尚子 / daily press

naotakegata@dailypress.org

03-6416-3201 / 090-1531-6268